

FAIL-SAFEの向うには

航空機が飛ぶ場合、機の長たるものは、ETP (Equal-Time-Point) を常に計算している。不測の事故に際し、各種の条件を考慮して、その飛行機を出発点に戻すべきか、目的地あるいはもよりの飛行場に向けるべきかを決断する、航路上の点である。また PNR (Point of No-Return) という点もある。この点を越えれば、もう燃料その他の関係で出発点に戻ることはできないという、絶体性をもった点である。

GNP とやらの伸長が、それ自身レーゾンディテルとなったかの観があり、たてまえ上は国民の幸福などと錦の御旗をかかげながら、現実には逆らいがたい災害・公害をまき散らしているこの文化国の毎日に生きてみると、この二つの言葉の持つ重大性がしみじみと理解できる。

誰かがこのような方向について、ついこの間 decision making をしたのである。そしてわれわれ非力な民どもは、これに対し ETP を計算し PNR を判断すべき責任を持つ人(々)が、英知を働かし、全力を投入してくれらるものと信じて、自分の持場を守ってきたように思う。ところが、自動車にしても石油工業にしても、進歩と発展とは常に災害と不調和を作り出すという法則があるかのごとくわれわれを追いつめ、農薬もまた劣らじと農村と農民を犯し、消費者をおびやかすほどの力を貯えている。企業はある限度を越える大きさに達すると、独自の運動法則にしたがって生長・行動し、それを作り出したものもコントロールなどできないということであろう。

除草剤が自然のバランスを破壊する物の一つであることは疑いないところであり、その普及

目 次

東南アジアの雑草防除

農林省農事試験場作物部

雑草防除 中川恭二郎……………2
第2研究室長

ミカンの着色剤

農林省園芸試験場興津支場

果樹 大東 宏……………9
第2研究室

イチゴ園の雑草防除

埼玉県園芸試験場

化学部 古谷 友男……………20

新登録除草剤一覧

農林省農政局植物防疫課……………26

新除草・調節剤

NTN・5006 除草剤……………27

DC-55 除草剤……………27

植調協会だより……………28

と自然との間には、必ずや PNR があり、ETP の計算さるべきものでもあろう。局面を限れば、現在すでに近い所にそれがあのかも知れない。量と早さと効率とが、それをかくしているのもあろう。しかし、Fail-safe の向うに滅亡だけが待っているのは、何も核戦争だけの話ではない。このことは、われわれの毎日がこれを証明しているといつてよい。Fail-safe を越させてはならない。

農林省園芸試験場 西 貞 夫